

「父は無実！再審確定を求める日野町事件 2024 年東京集会」

2月7日に院内集会と最高裁要請を行う

最高裁に係属している日野町事件(再審開始決定に検察が特別抗告した事件)の支援集会が2024年2月7日、衆議院第一議員会館で行われた。

支援者約50人と再申請人の坂原弘次さん(獄中死した坂原弘さんの長男)と妹さん、弁護士3人が参加し、弁護団を代表して石側亮太弁護士が約40分間に渡って、本事件での検察の立証のデタラメさを報告した。

本事件は、いつ、どこで、どのように殺害したか曖昧なまま、実にいい加減な証拠で2000年9月に無期懲役が確定し、当人の坂原弘さんが第一次再審請求審の途中で獄中死したという悲惨な冤罪事件だ。

警察が嘘の証拠をでっち上げた事も、再審請求審の中で明らかになるなどして第二次再申請審で昨年2月27日に再審開始決定が出され、現在最高裁で争われている。

強盗殺人と言う謂われのない罪を着せられた父親の無念な獄中死、「殺人者の家族」として過ごさざるを得なかった時代、そして再審請求裁判を闘う辛さ苦しさ等、遺族が涙ながらに訴えた。

院内集会終了後、最高裁に移動し、弁護団が調査官面会を求め、意見書を提出するために最高裁正門から入ろうとするも、弁護士以外は金属探知機の検査を行う必要があるため南門(最高裁で傍聴人が入るところ)から入ることになっているとして、再審請求人である坂原弘次さんは正門からの入門は駄目だと規制された。

なぜ駄目なのか、どうしたらいいのか、いろいろ提案して交渉したが、その都度検討するとのことで長時間待たされた挙げ句の果て、正門からは入れず南門から入ることになった。

調査官面会はできなかったが、弁護団と坂原弘次さんが担当書記官に要請を行い、これとは別に支援者が同時刻に最高裁への要請も行った。

写真は院内集会の様々と、最高裁正門前の様子。

